

自律できる人間に

柳田恵先生は平成27年に芽室高校に赴任し、5年間勤務した。そしてこの度、定年退職を迎えた。

担当は理科の実験や家庭科の実習等を行い、部活動は茶道部と放送部だった。

芽高での思い出は「北海道胆振東部地震によるフラクアクトとコロナウイルスによる臨時休校」と語る。芽高の生活については「いつも穏やかな気持ちで過ごしました」とのことだ。また、「年を取ったせいか、みんなが子どものように気持よかった」とそうだ。

最後に芽高生へ「自分の健康は自分で守る。自律できる人間になってください」とメッセージをくれた。(戸塚)



親への感謝を忘れず

遠藤亘事務局長は平成30年に芽室高校に赴任。2年間勤務し、この度日高管内にある静内高校に転勤した。

芽高での思い出は昨年の「70周年記念事業」だった。そして芽高での生活については「とても楽しく過ごすことができた」と語る。

最後に、芽高生へ向けて「努力を惜しまず、親への感謝を忘れず、悔いのない高校生活になるよう祈ります」とメッセージを残した。(戸塚)



置かれた場所で咲こう

黒沢悟さんは、平成31年に赴任し、この度3月で退職した。

芽高での思い出は「着任まもなくプール床下のビット内に潜っていたら喉が雑菌でおかしくなりそうになってしまったこと」だそう。また、嬉しいこととして「公務員生活を通して初めて持ち家から通勤できたこと」を挙げた。

最後に芽高生へ「学校生活や日常生活の中で常に『置かれた場所で咲ける』よう、努力を惜しまず夢が実現することを願っています」と、エールをくれた。(栗山)



夢を抱いたらまっしぐら

五十嵐文雄さんは、平成31年に赴任し、この度3月で退職した。なお、退職後は何か習い事をしたいとのこと。

芽高の思い出は「通勤の際、道路の両側で四季折々の農作物が色彩を放つのを眺めていたこと。また、生徒も、先生も、良い人達で最高の時間でした」と語る。

最後に芽高生へ「大震災、気候変動、パンデミック...未曾有の事象の起こる世紀に生きる皆さんに躊躇していい暇はなし。夢を抱いたらまっしぐらに進んでください」とメッセージをくれた。(栗山)



新型コロナウイルスの影響芽高にも不安な中で分散登校実施

3月2日か3日の高校は臨時休校となったが、3月23日と24日に分散登校が実施された。

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、全道の公立学校は約1ヶ月の臨時休校となった。そして芽室高校は3月23日に2年生が、24日に1年生が分散登校を行った。

この期間について木南陽生さん(3C)は「自宅学習をしながら、後輩たちと一緒に勉強を教えた」と語った。また分散登校では「友達と会話できてよかった」として困ったこととして「一人の密集地帯には出歩けない」ことを挙げた。

吉村彩華さん(2B)は「臨時休校中は動画鑑賞やゲームをしていた」と話し、分散登校については「久しぶりに友達に会えて嬉しかったが外出ができないのが不便」と語った。他にも「マスクが手に入らない」、「安易に外に出られない」という声もあった。(五十嵐)



生徒の間に距離を空けて登校

局説コロナよりも恐ろしいナニ

ツイッター上のある投稿が世間に波紋を及ぼした。それは、「新型コロナウイルスの被害が起こるたびSNSでデマが広がる」という趣旨の投稿だった。しかし、日本では販売されているものの99%が国産で、た人物の名前や顔写真、勤務先等が特定されることは少ない。また、デマを流す人から学び、現在に生かされなければならぬであろう。

また、デマを流す人から学び、現在に生かされなければならぬであろう。

また、デマを流す人から学び、現在に生かされなければならぬであろう。

また、デマを流す人から学び、現在に生かされなければならぬであろう。

編集後記

コロナウイルスの影響で、約1ヶ月臨時休校が続きました。しかし、このような状況でも、離任された先生の方のコメントを読者の皆さんに届けたいたい。そこで今回の新聞は今流行りの「?」テレワークで作成しました。いかがでしたでしょうか。皆さん、コロナに負けません、手洗いがいい徹底的に健康を維持しましょう!

五十嵐千歳(3A) 小川結衣(3C) 戸塚智恵(3D) 奥山惟碧(2D) 石森田香利 横濱優子

顧問